

平成 2 5 年

第 1 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成25年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、前回定例会後の主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇ノロウイルス感染防止に係る学校給食休止について

角館学校給食センター調理員1人にノロウイルス感染が認められ、2月12日から15日までの4日間、小・中学校の給食を休止いたしました。

児童・生徒・教職員に二次感染者は報告されておりましたが、給食センター全職員の精密検査を行い、2月15日に最初の感染者1人を除き、全員陰性であることが判明し、2月18日から給食を再開いたしました。

今後もノロウイルス等の感染については、厳重に注意し給食の安全・安心確保に努めて参ります。

◇いじめ、体罰について

小・中学校における児童・生徒のいじめ問題については、平成24年9月から、いじめ事案の認知、対応について、毎月調査を実施しております。9月から1月までの各小・中学校での認知件数は、小学校6件、中学校7件の合計13件となっています。冷やかしやからかい、悪口などの内容がもっとも多く、携帯電話による中傷などの事案もあります。いずれも現在は解消、又は収拾に向けて指導を継続中であります。

各学校では、子どもの命や人権に関わる重大事項として、危機管理意識をもった対応と未然防止、早期発見、早期対応に努めております。教育委員会といたしましても各学校の実態をつぶさに把握し、学校と連携・協力して解決に向け支援しているところです。

また、教職員による体罰については、各学校管理職に対する県教育委員会の聞き取り調査が先頃実施されましたが、市内の小・中学校では、発生事案の報告はありませんでした。

この後3月上旬にかけて、文部科学省の通達により、県教育

委員会では、全児童・生徒、保護者、教職員を対象とした体罰に関する調査を実施いたします。

◇かくのだて幼稚園の耐震化・アスベスト除去工事完了について

かくのだて幼稚園の耐震化・アスベスト除去工事が、1月8日に完了いたしました。1月17日には県の検査が終了し、1月21日から本来の園舎にもどり、園の活動を再開しております。

◇全県中学校スキー大会について

去る1月13日から16日まで、鹿角市の花輪スキー場において、第56回全県中学校スキー大会（クロスカントリー・アルペン）が、高等学校総合体育大会スキー競技会と合同で開催されました。生保内中学校がアルペンの部で男子総合優勝、生保内中学校3年の須田忠厚選手が大回転で3位、同3年の日高大樹選手が回転で3位に入賞するなど、市内各校の選手が好成績を収めております。

東北大会には、アルペンの部に男子2人、女子1人、クロスカントリーの部に男子3人、女子2人が出場し、全国大会には、アルペンの部に男子2人、クロスカントリーの部に男子1人、女子2人が出場しました。

◇被災地からの小・中学校転入児童生徒の状況について

被災地からの市内小・中学校への転入児童生徒は、生保内小学校11人、生保内中学校1人、角館小学校3人、西明寺小学校1人の合計16人（男6人、女10人）です。県別では福島県から12人、宮城県から4人となっております。

また、幼稚園については、生保内幼稚園に4人、神代幼稚園に3人の合計7人（男5人、女2人）、福島県から6人、宮城県から1人となっております。

◇インフルエンザによる出席停止の状況について

桧木内小学校6年生が、1月21日から3日間学年閉鎖となったのを皮切りに、桧木内小学校1年生、生保内小学校6年生、角館小学校1年松組、2年松組、5年松組、神代小学校1年生、2年生、3年生が2月1日から4日間の学年・学級閉鎖となっております。

2月19日現在、幼稚園、小・中学校において、学年・学級閉鎖はありませんが、インフルエンザによる児童生徒の出席停止が継続して発生しており、大仙保健所管内では、2月第2週にインフルエンザ流行拡大に関する警報が発表されております。今後も手洗いやうがいの励行など、感染予防対策に取り組んで参ります。

【生涯学習課】

◇仙北市総合美術展について

2月6日から17日まで、せんぼくアートプロジェクト推進事業を活用した第2回仙北市総合美術展が、同実行委員会主催で角館町平福記念美術館において開催されました。131人と1団体から絵画や書、写真のほか、手芸・工芸品など昨年を大幅に上回る202点の出展がありました。出展者たちは、お互いの作品を評価し合ったり、鑑賞に訪れた方々と歓談するなど、打ち解けた交流の場となっております。会期中の入場者数は451人です。

◇国民文化祭について

仙北市主催事業の実施計画案について、各事業別企画委員会からの提案をまとめ、県へ提出しております。県では、2月4日の第4回秋田県企画委員会において、全県の実施計画案が了承されております。

また、2月25日に第3回仙北市実行委員会を開催し、仙北市の実施計画案について詳細を説明し報告しております。開催まで1年7カ月余りとなりましたが、今後、本格的な準備に取り組んで参ります。

【公民館】

◇新春書き初め大会について

1月8日に田沢湖、角館、西木公民館合同による「仙北市新春書初大会」が角館交流センターで開催されました。市内の小学生49人、中学生1人、高校生19人の合計69人が、各学年ごとに「きずな」や「満天の星」などの課題に取り組み、さわやかな墨の香りが漂う中、新年の思いを込め真剣に筆を運んでいました。

大会の作品は、1月10日から30日まで西木温泉「クリオン」に展示し、訪れた方々に鑑賞していただきました。

【市民会館】

◇第2回「ロビーコンサート」について

9月に開催した「十五夜」ロビーコンサートの好評を得て、12月15日に「クリスマス」ロビーコンサートを開催いたしました。

クリスマスの夜を演出するイルミネーションが、雪景色を幻想的に照らし出す中、クラシックのトリオとビッグバンドによる冬をテーマにした楽曲の演奏は聴衆を魅了し、演奏者と聴衆が一体となる楽しい空間が創り出されました。

今後も「ロビーコンサート」を定着させるとともに、多様なジャンルの催しを企画し、市民に楽しんでいただけるよう努めて参ります。

【田沢湖図書館】

◇「おはなし玉手箱」について

12月22日に3回目の「おはなし玉手箱」を開催いたしました。

大型絵本やしかけ絵本・紙芝居・スライド等多様な構成で、物語の面白さや図書館への興味を引きつける役割を果たしてくれました。

今後も本のすばらしさや読書の楽しさを伝え、図書館に足を運んでいただける工夫と努力を続けて参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市読書感想文コンクールについて

学習資料館では、角館図書館後援会の後援をいただき、第2回仙北市読書感想文コンクールを実施いたしました。

今回は、市内小・中学校10校から117点の応募があり、入選作品15点の中から仙北市長賞1点、角館図書館後援会長賞2点、仙北市教育長賞2点を選出し、2月28日に仙北市総合情報センターで表彰式を行います。

【スポーツ振興課】

◇第11回日韓青少年冬季スポーツ交流会について

1月20日から28日まで、韓国で開催された第11回日韓青少年冬季スポーツ交流会の日本選手団として、秋田県内から40人の中学生が派遣され、仙北市内の中学生6人も団員としてスキー競技に参加しました。

アルペン競技には、生保内中学校1年の吉田選手、2年の田口選手、クロスカンントリー競技には、角館中学校1年の太田選手、後藤選手、神代中学校1年の白石選手、高田選手が出場し、韓国の子どもたちと友好親善を図りながら思い出深い体験をしております。

また、2月17日から23日まで、たざわ湖スキー場において、韓国の子どもたち約40人の選手団と仙北市を含む秋田県内の子どもたち40人がスキー競技等で交流を深めました。仙北市の小正月行事の一つである「紙風船上げ」や「火振りかまくら」の製作と実演にも取り組むなど、韓国から訪れた選手団に冬の仙北市を楽しんでいただき、日韓の友好親善に努めました。

【文化財課】

◇ 桧木内川堤と天然記念物のサクラについて

名勝桧木内川堤のサクラについて、景観保全を目的に、2月1日から3月1日までの29日間、ソメイヨシノ花芽食害防止として、ウソの有害鳥獣捕獲を角館猟友会に委託しております。昨年はウソの飛来がありませんでしたが、今年は、2月20日までに70羽ほど捕獲しており、若干の食害が確認されております。被害の拡大を防止するため引き続き猟友会による巡回と捕獲をお願いしているところであります。

また、積雪により1月22日の午後3時過ぎに、角館南高等学校にあります天然記念物のシダレザクラ（指定番号140番）の歩道に伸びた枝からの落雪により、下校途中の角館小学校4年生男子の右足を直撃し、腓骨を骨折するという事故が発生いたしました。被害児童並びにご家族の皆様、関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを衷心よりお詫び申し上げます。その日の夕方、高所作業車で角館南高等学校通りのシダレザクラの雪落とし、翌日に武家屋敷通りの樹木の雪落としを行っております。

この降雪と低温により、名勝指定の桧木内川堤のソメイヨシノや天然記念物のシダレザクラの枝欠け、落木等が多数みられますが、雪解けを待つ適切な処置を施したいと考えております。

◇ 白岩焼窯跡毀損について

昨年の「白岩焼窯跡毀損」の修復状況であります。秋の天候不順で調査期間が長引いたことと、予想外に早い積雪により今年度の作業を断念いたしました。地権者並びに県文化財保護室と協議し、5月末日まで修復期間を延長していただいております。

【平福記念美術館】

◇ 児童生徒県南美術展について

12月5日から1月29日まで、第35回児童生徒県南美術

展を開催いたしました。県南地区の小・中学校 91 校からご協力をいただき、1,131 点の作品を展示いたしました。12 月 1 日の審査会で特賞 23 点、奨励賞 187 点を決定、その他 921 点を入選といたしました。会期中は、家族連れでの来館者が多く 2,890 人の方々が訪れております。

1 月 27 日に特賞受賞者の表彰式を開催し、賞状と記念品を授与いたしました。審査委員長の佐々木良三秋田大学名誉教授による講評では、独自性と創造性に優れた作品が評価されたこと、作者の個性や成長の様子が表現されている点などの解説があり、来場した受賞者とその家族、学校関係者が熱心に傾聴しておりました。今後もこの企画展が、児童生徒の美術教育の一環として、更に充実するよう努めて参ります。

また、この期間中に角館中学校生徒が町内の風景を描いた「スケッチ展」と角館高校と角館南高校の美術部、イラスト同好会による「合同展」も開催されました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、引き続き教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。